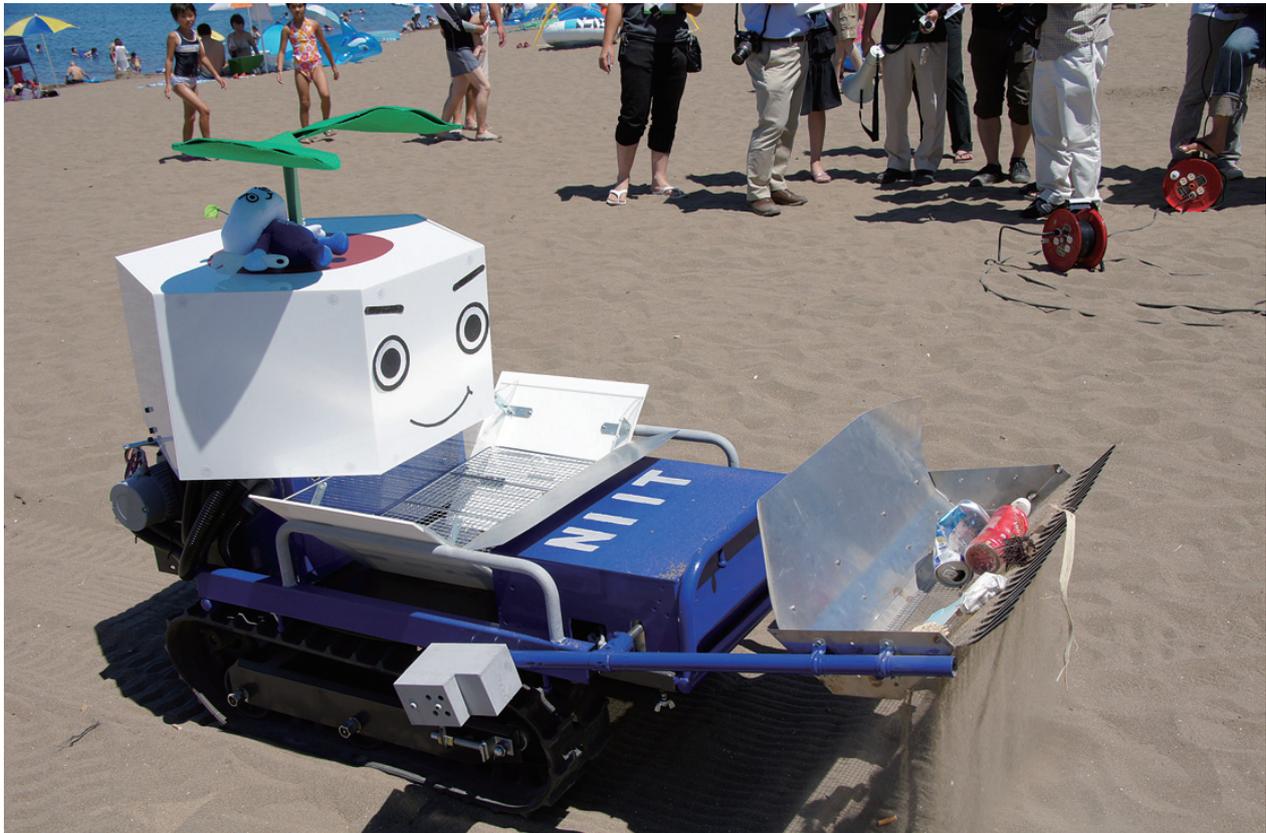




海浜清掃装置デモンストレーション

※ 海浜清掃装置に関する記事は2ページに掲載



CONTENTS

NIIT news

- P.2** ・ 海浜清掃装置のデモンストレーションを実施
 - ・ 新潟大学工学部と単位互換協定を締結
 - ・ モンゴル科学技術大学と学術交流協定を締結
 - ・ 平成22年度特別奨学生伝達式
- P.3** ・ 第15回工科大祭
 - ・ 中越沖地震復興イベント「ありがとうの日 2010」に協力
 - ・ 学友会主催スポーツ大会を実施
- P.4** ・ 平成21年度日本雪工学会賞受賞
 - ・ 原子力耐震・構造研究センター情報
 - ・ 平成21年度学内共同研究成果報告会を開催
 - ・ 日本建築学会北陸支部大会を開催

告知・イベント情報

- P.5** ・ 建築学科特別講演会のご案内
 - ・ 公開講座in上越のご案内
 - ・ 入学試験情報 - 推薦入学試験 -

Voice of OB・OG

- P.6** ・ 株式会社高田建築事務所 清水 靖子さん

研究室訪問

- P.7** ・ 都市計画研究室

部活・サークルFile

- P.8** ・ サッカー部

海浜清掃装置のデモンストレーションを実施

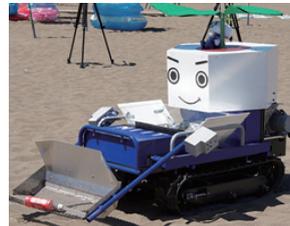
8月10日(火)に海水浴客で賑わう柏崎市東の輪海水浴場で、学生が開発した海浜清掃装置のデモンストレーションを行いました。

また、当日は多数の報道機関が取材に訪れ、担当の学生はデモンストレーションに取材にと大忙しの日となりました。

この装置は、地域の課題であった「海水浴場のゴミ処理」を解決するため、学生が機構、ゴミの集め方、外観などの設計にアイデアを出し、柏崎市や協力企業との連携により、製作したものです。この取組は、昨年度採択された経済産業省の「地域密着型人間力育成事業」のプロジェクトで、学生の人間力育成を目的として実施しています。今年度も引き続き、改良を行い、今回のデモンストレーションに至りました。

指導にあたった機械制御システム工学科の中嶋新一教授は、「企業とコミュニケーションを取りながら開発に挑むこと

で、学生の人間力を育成することができた」と評価しており、今後も更なる改良を行い、人間力を育成するだけでなく、環境問題に取り組みながら地域貢献を果たしていきたいと思っております。



【関連URL】

<http://www.niit.ac.jp/HCDP/news/20100826.html>

新潟大学工学部と単位互換協定を締結

7月6日(火)に新潟大学工学部と単位互換に関する協定を締結しました。

調印式は、新潟大学工学部で行われ、協定書と実施要項が交わされました。両大学とも今年10月から相互の大学で特別聴講生として受講することができます。



▲新潟大学工学部との協定締結の様子

これまで単位互換は、新潟産業大学、長岡造形大学、長岡技術科学大学の3大学と行っており、今回の協定締結で計4大学と実施することになりました。本学で学ぶことのできない分野の科目を履修する機会が拡充されるとともに、他大学との活発な交流が期待されます。

【関連URL】

http://www.niit.ac.jp/news/2010/07/post_279.html

モンゴル科学技術大学と学術交流協定を締結

8月17日(火)にモンゴル科学技術大学において、同大学と学術交流協定を締結しました。

同大学は工学を中心に17の分野を擁する国立大学で、現在の学生数は約30,000人です。

今後は、両大学間の学生交流、相互に関心のある分野での情報交換等を進める予定です。

本学はハルビン理工大学(中国)、建国大学(韓国)とも学術交流を行っており、今回の締結により学術交流先は3校となりました。

【関連URL】

http://www.niit.ac.jp/news/2010/09/post_296.html



▲モンゴル科学技術大学との協定締結の様子

平成22年度特別奨学生伝達式

7月22日(木)に平成22年度特別奨学生伝達式が行われ、2~4年次の採用者24名が出席しました。

特別奨学生とは、前年度の学業成績及び人物が特に優れた学生に対して、年間授業料の半額(44万円)を免除する制度です。

伝達式では、特別奨学生を代表して、物質生物システム工学科4年生の住吉徹雄さん(新潟県立分水高等学校出身)に布村成具学長から採用通知書が手渡されました。

【関連URL】

http://www.niit.ac.jp/news/2010/07/post_283.html



第15回工科大祭

6月5日(土)に第15回工科大祭が行われ、同時開催の「青少年のための科学の祭典2010柏崎刈羽大会」とあわせて、1,800人の来場者で賑わいました。

曇り空の中でしたが、朝早くから大勢の学生・高校生・親子連れなど地域の方々が訪れ、工科大祭実行委員が笑顔で来場者を迎えていました。

各クラブやサークルなどが、模擬店やフリーマーケットの outlet、各種イベントを行い、様々な形で工科大祭を盛り上げてくれました。更に昨年に引き続き、新潟産業大学学友会もブースを設置し、本学学友会との交流が一層深まりました。



毎年恒例のお笑いライブでは、「よしもとお笑いライブおでかケロッツtheよしもとin新潟工科大学」と題して行われ、昨年のM-1チャンピオンのパンクブーブーさん、TVでも活躍するカラテカさん、イシバシハザマさん、オコチャさんの計4組が、会場を埋め尽くした来場者を笑いの渦に包みました。

【関連URL】

http://www.niit.ac.jp/news/2010/06/post_267.html



【各学科がPRコーナーを設置】

多くの一般来場者に大学をよく知ってもらおうと、学科単位でのイベント、PRが行われました。

■機械制御システム工学科

大金一二准教授の研究室とロボット研究部がレスキューロボットや水上用ロボット等の展示・実演

■情報電子工学科

佐藤栄一准教授の研究室とロボットAIプログラミング同好会が手作りゲームの体験

■環境科学科／物質生物システム工学科

「ようこそ、分子の世界へ!」と題した分子模型の展示

■建築学科

1年生が製作した椅子と光の箱、2年生による「シングルマザーと5人の子供の住む家」の設計製図の公開



中越沖地震復興イベント「ありがとうの日2010」に協力

7月16日(金)に柏崎市の市民プラザを中心に開催された中越沖地震復興イベント「ありがとうの日2010」で、建築学科の1~2年生が、講義の一環としてペットボトルアートやキャンドルライトを制作し、展示を行いました。本イベントへの参加は昨年に引き続き、今年で2回目となります。

今年は「柏崎の復興を祈る」をテーマとして、ペットボトルアート9作品を展示しました。

キャンドルとペットボトルアートのLEDの光が、メイン会場の市民プラザ前を幻想的に包み込み、市民に癒しと活力を与えていました。



【関連URL】

http://www.niit.ac.jp/news/2010/07/_2010.html

学友会主催スポーツ大会を実施

7月10日(土)学友会主催の夏季スポーツ大会が開催されました。

当日はバスケットボールとバレーボールの2種目が行われ、暑い中多くの学生、教職員が参加して汗を流しました。

バスケットボールには5チーム34名が参加し、優勝は1年生チームの「フィジーク」、バレーボールには4チーム25名が参加し、優勝は同じく1年生チームの「モックン」でした。学生に混ざり、職員チームも参加し、学生との交流を深めることができました。

冬季にもスポーツ大会の開催が予定されています。



【関連URL】

http://www.niit.ac.jp/news/2010/07/post_280.html

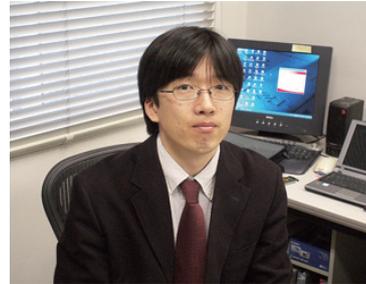
平成21年度日本雪工学会賞受賞

建築学科の富永禎秀教授が「平成21年度日本雪工学会賞 学術賞」を受賞しました。業績名は「CFDによる建物周辺の飛雪現象の数値予測に関する一連の研究」です。

なお、受賞に当たって、9月26日(日)～29日(水)に仙台市の東京エレクトロンホール宮城で開催される平成22年度日本雪工学会全国大会での記念講演および、学会誌「解説」に研究内容が掲載される予定です。

【関連URL】

http://www.niit.ac.jp/news/2010/07/post_278.html



原子力耐震・構造研究センター情報

本学構内に建設される「原子力耐震・構造研究センター」について、本号では同センターで実施する研究活動テーマについてお知らせします。

具体的な活動内容は今後本紙でお知らせしていきます。

- (1) 地震波の増幅特性の評価をもとにした地震動の施設への影響の評価
- (2) 原子力発電所の耐震裕度の定量的な評価
- (3) 構造物の経年劣化を考慮した耐震性の評価
【担当：機械制御システム工学科 山崎泰広 教授】
- (4) 地震時に観測された様々な情報を集約して分かりやすく伝達するシステムの開発
【担当：情報電子工学科 佐藤栄一 准教授】

なお、同センターの7月末日現在の工事進捗状況は約4割です。11月に竣工予定で、竣工式と合わせて、原子力安全基

盤機構と国際原子力機関(IAEA)主催による国際シンポジウムが開催されます。



▲7月末現在の工事の様子

【関連URL】

<http://www.niit.ac.jp/taishin/taishin.html>

平成21年度学内共同研究成果報告会を開催

6月16日(水)に平成21年度学内共同研究成果報告会を開催し、2件の研究成果発表が行われました。多数の学生および教職員が聴講しました。

【関連URL】

http://www.niit.ac.jp/news/2010/07/post_274.html

〈発表テーマ〉

- 1.天然ガスを主燃料とする二元燃料ディーゼル機関の燃焼特性
発表者:機械制御システム工学科 吉本 康文 教授
- 2.ヒト唾液ペプチドの抗菌機能を活用した口腔保健製品の開発
発表者:環境科学科 斎藤 英一 教授

日本建築学会北陸支部大会を開催

7月17日(土)～18日(日)にかけて、本学を会場に「日本建築学会北陸支部大会」が開催されました。17日はシンポジウム及び2009年度北陸建築文化賞表彰式・作品発表会が一般公開で行われました。シンポジウムは、「地域活動における近隣大学の役割—中越沖地震からの復興の中で—」と題し、基調講演には日本建築学会会長佐藤滋氏(早稲田大学教授)を招き、講演後、地元えんま通り商店街の商店主や大学教授によるパネルディスカッションが行われました。

18日は研究発表会や学生による語り合いのシンポジウムなど、会員向け行事が行われました。

【関連URL】

http://www.niit.ac.jp/news/2010/07/post_284.html



告知・イベント情報

建築学科特別講演会のご案内

建築学科では、毎年恒例となっている「建築週間」を10月4日(月)～9日(土)に開催し、作品展示のほか、卒業研究・設計や修士論文中間報告会を行います。このうち、10月9日(土)に行われる特別講演会を公開行事として、一般の方々に公開します。

お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

- 演 題 建築への変換
- 講 師 徳川 宜子氏(建築家)
※「慈眼山成願寺」で第19回AACAA賞ほか受賞多数

- 日 時 10月9日(土) 13:30～15:00
- 会 場 本学 S1大講義室
- 申 込 不要
- 参加費 無料

お問い合わせ先	新潟工科大学 建築学科事務室
	〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719 TEL 0257-22-8166

公開講座in上越のご案内

本学では、教育研究の情報を地域の皆様に還元するとともに、学習機会を提供する場として、新潟県上越市で公開講座を開講します。多くの皆様方の受講をお待ちしております。

新潟工科大学公開講座in上越 実施概要

「快適で安全な地域の住まいづくり」

本学の教員が様々な視点から私たちの住まいや町のあり方について、わかりやすく解説します。

回	開講日/時間	講 師	題 目
1	10月28日(木) 19:00～20:30	教 授 地濃 茂雄	安全・安心、豊かな住まい ー具現化に向けてー
2	11月4日(木) 19:00～20:30	教 授 中野 克彦	地震と住まい1 ー安全な住まいとはー
3	11月11日(木) 19:00～20:30	准教授 田口 太郎	地震と住まい2 ー復興の取り組みと課題ー
4	11月18日(木) 19:00～20:30	教 授 深澤 大輔	雪と住まい ー雪に備える建築ー
5	11月25日(木) 19:00～20:30	教 授 飯野 秋成	環境と住まい ー建築環境と省エネルギーを考えるー

■場所:上越市 市民プラザ 第1会議室 ■対象:一般市民 ■定員:50名 ■申込:平成22年10月18日(月)まで

お申込み・ お問い合わせ先	新潟工科大学 入試広報課
	〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719
	TEL 0257-22-8188
	FAX 0257-22-8226
	URL http://www.niit.ac.jp/ E-mail nyuushi@adm.niit.ac.jp

入学試験情報 ー推薦入学試験ー

以下のとおり、推薦入学試験を実施します。推薦入学試験では、高等学校における評定平均値を出願資格に設定し、どのように学習に取り組んできたかを面接及び出願書類により確認します。また、学習以外に資格の取得を目指すことや、課外活動へ積極的に参加していることなども併せて聴取し、審査・評価します。

1. 出願資格

(1) 指定校制

- 本学の指定校になっていること
- 出身学校長の推薦を受け、本学を専願する者
- 評定平均値が3.5以上の者
※普通科は、全履修教科の全体の評定平均値、普通科以外は、3教科(数学、理科、外国語)の評定平均値の平均

(2) 公募制

- 出身学校長の推薦を受けた者
- 評定平均値が3.0以上の者
※普通科は、全履修教科の全体の評定平均値、普通科以外は、3教科(数学、理科、外国語)の評定平均値の平均

2. 選抜方法

- (1) 指定校制 面接(志望動機を中心に質問)及び出願書類を総合して選抜
- (2) 公募制 面接(志望理由書の記載内容を中心に質問)70点、出願書類30点の合計100点満点で選抜

3. 選抜日程

★指定校制、公募制推薦A日程★

- ・ 出願期間：10月18日(月)～10月27日(水)
- ・ 試 験 日：11月 6日(土)
- ・ 合格発表：11月11日(木)

★公募制推薦B日程★

- ・ 出願期間：11月22日(月)～11月29日(月)
- ・ 試 験 日：12月 4日(土)
- ・ 合格発表：12月 9日(木)

※出願資格等の詳細については本学ホームページ、入試ガイド等でご確認ください。



Graduate Interview

vol. 15

株式会社高田建築事務所

清水 靖子さん

建築学科 2008年3月卒業



今回は、新潟県長岡市にある「株式会社高田建築事務所」に勤務されている清水靖子さんにお話を伺いました。清水さんは、卒業設計が卒業設計コンクールで金賞を受賞するなど、在学中も数々の活躍をされていました。

レポーター： お忙しい中、時間を取ってくださりありがとうございます。まずは、会社についてご紹介いただけますか？

清水： 弊社は、一般住宅や集合住宅、幼稚園から福祉施設、美容院等の店舗設計やまちづくりまで幅広い分野の建物の設計から施工をしています。また、不動産や大工、建材のプレカットも自社で行っています。

レポーター： ご紹介ありがとうございます。清水さんは、現在、どんな業務を担当されているのですか？

清水： 担当部署は、営業設計で、色々やらせてもらっています。自分の業務内容としては、主に見学会等で出会ったお客様に対しての営業活動（追客）から、平面・立面プランの提案設計、見積り等の契約までにかかわる一連の業務を補佐しています。また、契約後は空間の設計業務の補佐と、コーディネーターを主に担当しています。



レポーター： 営業から設計まで一通り担当されているんですね。ところで、どうして高田建築事務所に入社したのですか？

清水： 自宅の近くに「ミトロの森」という医療施設が集まって建っている場所があるのですが、建物の一つ一つがとても面白いんです。私は、医者嫌いなのですが、毎日通いたくなる程の空間の持つパワーを感じて、自分が建築の道に進むならここを設計した会社に就職したいと漠然と思っていたら、念願が叶いました。

レポーター： すばらしいエピソードですね。では、念願の仕事をしていて、大変なこととかやりがいを感じることを教えてくださいませんか？

清水： 大変なことは、『相手の気持ちをいかに汲み取れるかということ』です。お客様が何を望んでいてどうしたいのか、いかにその気持ちを汲み取った提案ができるかが一番大変だなと感じます。自分がこうしたいという提案も、お客様が望んでいなければ意味がないので、逆にお客様にそうしたいと思わせる空間や建物の提案、見せ方ができれば良いのですが、やりがいを感じるのは、やはり、お客様に喜んでいただいたときです。自分の提案を受け入れて貰い、自分の描いた線、選んだ色達が形になって出来上がって、『この空間が一番のお気に入りなんですよ』なんて言って貰えたりするとうれしいですし、やりがいも感じます。

レポーター： 充実した日々を過ごしているようで何よりです。話は変わりますが、学生時代は数々のコンペで入賞していましたが、何か思い出はありますか？

清水： 思い出ですか…数をあげたらきりがありませんが、やはり卒業設計作品の『子宮』ですね。この作品をつくりながら、(プラスバンド同好会に所属していたので)震災復興支援コンサートや瀬戸内海への一人旅、仮設住宅に集会場を作るのを手伝ったり、子供を対象にワークショップをやったり、横浜での学会に参加したりと大変でした。その甲斐もあって、この作品は仙台デザインリーグで予選を2位通過し、100選の中に選ばれましたし、新潟県内のJIA卒業設計大会では金賞をいただき、工科大初の全国大会に県代表として参加しました。助けてくれた仲間や後輩、先生方に感謝すると共に、すごく貴重な時間と経験をさせてもらいました。

レポーター： 改めてお話を聞くと色々やられていたんですね。

清水： 現在も「CHIKU SIZE」という社会人限定のサークルを結成して、設計コンペの参加や色々な建築を見学に行っています。社会人1年目の時に出品した某家具コンペでは、奨励賞をいただきました。今年は住宅コンペに参加する予定です。また、ホームページも開設する予定ですので、今後の活動にご期待ください。

レポーター： 期待しています。賞を取ったら報告してください。それでは、最後になりますが、これから大学に入学したり、社会に出る後輩に一言お願いします。

清水： 学生時代の経験は、すごく貴重です。夏休みだからってボーっとTV見ながらアイスを食べている場合じゃないですよ。色々なことに参加できるのは、今しかないと思って何でもやってみるのが大切だと思います。

レポーター： 貴重なお話、ありがとうございました。



▲ゼミ合宿 in 金沢

■ 研究室概要

私たちの暮らしは地域との関係なしには成立しません。自分の暮らしだけが良くてもまちとしての魅力は創出できないのです。私たちは沢山の人々が生活する舞台である“まち”をどのようにしたら良いか、を探求しています。少子高齢化が進む日本では過疎高齢化や中心市街地の衰退といった地域の課題の根源を探り、総合的に解決していく必要があります。地域全体が活力を持ち、暮らし心地のよいまちを創るためには、どうしたらよいのか？まちづくりの実践を通じて、まちの活力をとりもどす方法を研究しています。

こうした中で昨今、NPOをはじめとした市民団体がまちづくりの主役となりつつあります。しかし、こうした活動を持続的に行うには様々な問題があります。こうした問題をどう解決していくのか、あるいは地域の様々なアクターの連携を通じてどうしたらよい地域を創造できるのかを実践を通じて研究していきたいと考えています。

現在は、中越沖地震で被災を受けた柏崎市のえんま通り商店街の復興を研究室のプロジェクトとして支援しています。これには、日常の賑わいを創り出すことを目指したイベントから実際の建築デザインを通じた町並みづくりと多岐にわたりますが、都市の魅力を創り出すためには両方が必要、と学生教員が一丸となって取り組んでいます。



《学生のホンネ》

建築学科4年

宮沢 駿

(私立松本第一高等学校出身)

私が都市計画研究室を選んだ理由は、この研究室が中越沖地震後からいろいろな支援を行ってきており、自分もそれに参加しながら、卒業設計をしたいと思ったからです。

現在、私が取り組んでいる卒業設計のテーマは、小学校の設計です。私の地元、長野県松本市に旧開智学校という日本で最も古い小学校の一つとされているものがあります。昭和38～39年にかけて移築され、昭和40年に教育博物館になりました。その場所から切り離され、学校として使われなくなった建築は、社会的価値や意味を失ってしまいました。そこで、社会的価値の再編のために新たに小学校をつくり、旧開智学校の教育精神を取り戻し、新たに旧開智学校に魂を入れるというのがテーマになっています。あまり、順調に進んではいないのですが…。研究が順調に進んでいないこともあり、大学に寝泊りする事も多々ありますが、辛いとは思いません。むしろ、良いアイデアが出ないときの方が、辛くもあり、苦しくもあります。しかし、卒業設計を始めるまでは、こんなに一つのことに集中して考えたことがあまりなかったので、大いに自分の糧になっています。

また、都市計画研究室は、学生同士の仲が良く、全員でいろんなところに出かけたり、行事に参加しています。冬は、雪合戦の大会に出たり、春は花見に、夏は金沢にゼミ合宿に行ったりしています。他にも大学の球技大会に参加して、準優勝しました。

最後に田口准教授の熱心な指導に感謝するとともに、それに応えられるように努力をしていきたいと思えます。



田口准教授から 学生に向けて一言

都市計画の研究・実践をするためには、まちで生活する様々な人々との積極的なコミュニケーションが不可欠です。また、状況に応じた柔軟な発想も欠かせません。そのためには、自分の世界に閉じこもらずに積極的に脚を運び、沢山の人たちとディスカッションをする気力体力が求められます。

研究室の学生には自分の研究のみならず様々な事に興味を持って脚を運んでほしいと思っています。

部活・サークル File

vol.2 サッカー部

部長:木村 翔

【機械制御システム工学科3年 新潟県立柏崎工業高等学校出身】

部員:21名

(1年次生:6名、2年次生:8名、3年次生:3名、4年次生:4名)



サッカー部は、『社団法人新潟県サッカー協会 新潟県大学・高専サッカー連盟』に所属しており、主に次のリーグ・大会に参戦しています。

☆参戦リーグ・大会☆

- 新潟県大学・高専サッカーリーグ
- 新潟県大学・高専秋季サッカー選手権大会
- 全日本大学フットサル大会新潟県大会

今年度は、全日本大学フットサル大会新潟県大会を突破し、7月3日(土)、4日(日)に長野県で開催された第6回全日本大学フットサル大会北信越大会に新潟県代表として出場しました。北信越の各県の代表チームと戦いましたが、さすがにレベルが高く1勝4敗で5チーム中4位という成績でした。しかし、2年連続で優勝した長野県代表の信州大学との対戦は、結果は1対4でしたが、前半は1対1と善戦し、来年につながる大会となりました。



また、新潟県大学・高専サッカーリーグでは、今年は部員数の少なさから良い成績を残すことができませんでした。現在は、新潟県大学・高専秋季サッカー選手権大会に向けて日々練習に励んでいます。

練習は、毎週木曜日の16時20分から大学のグラウンド(雨天時は体育館)で行っています。最初の30分はアップで、残りの時間は、ゲーム練習、個人練習に費やします。練習は試合形式のものを多く取り入れています。また、実際の試合も多くこなしており、時期によっては毎週のように練習試合やリーグ戦・大会などで、試合に出場しています。部員の中には、他の部活やサークルを掛け持ちしている学生もいたり、実験実習が忙しく、試合に人数が足りないことがたまにあります。(実際に不戦敗で負けたこともあります…)

このため、常時部員を募集しています。初心者、経験者は問いません。みんな仲が良く、楽しい部活です。入部希望の方は、毎週木曜日の16時20分～18時の間にグラウンドか体育館で練習していますので、気軽に声をかけてください。

